

A HAPPY NEW YEAR!

Season's Greetings and Best Wishes
for
The New Year

Dear Mrs Odette Adib,

Hello. Do you remember us? We wrote to you once last spring. We act for Human rights and then write a request ~~about~~ ^{for} missing people in Lebanon.

Last month, we had a tea-party to write a letter to Lebanese government. 39 people did it. We are going on writing to the government and Hizbullah by now, but there is no answer. We wish that you get wonderful news in 1999.

AI Sapporo 28 Group
one of them. TSURUMI Hiroko

* The photo is our members at the tea-party.

Please remember that there are these people who mind you and act for disappearance in Lebanon civil war.
during



—良心の囚人に自由を！被拘禁者に公正な裁判を！—

アムネスティ札幌28Gが担当するレバノン・ケース



サマーン・モウサ・ジェッダ
(37) 甥

ベイルート
・アメリカ大学病院
救急医長



カマル・サマーン・ジェッダ
(66) 叔父

会計士



リチャード・アルバート
・セイラム (36) 兄

建築家
ローマ・カトリック



クリスティン・アルバート
・セイラム (34) 妹

学生

【背景事情】

1975年から1990年の間の内戦中、レバノンにはアマルやヒズボラといった好戦的なシーア派組織があり、この二つの組織はシリアと緊密な同盟関係を結ぶようになった。1984年、アマルは回教徒や極左派の他の勢力とともに反乱を先導し、西ベイルートからレバノン正規軍を追放した。1984年及び1985年には、およそ400人の人々がアマルに、500人がヒズボラに誘拐されたと考えられている。

【失踪状況】

1 サマーン・モウサ・ジェッダとカマル・サマーン・ジェッダの失踪の状況

1985年8月19日正午、西ベイルートのカラクン・アル・ドルーズで爆弾が破裂。サマーンは負傷者に救急手当を施しアメリカ大学病院に搬送。東ベイルートに向かう途中で武装した男により誘拐された。

2 リチャード・アルバート・セイラムとクリスティン・アルバート・セイラムの失踪の状況

1985年9月17日ベイルート、アル・ハムラ通りにある勤務先から彼らの家のあるサキヤット・アル・ジャニティールの方へ行く途中に誘拐された。1996年8月に仲介者からえた未確認の情報では、彼らはなお生きており、ヒズボラにより拘禁されているとのこと。

【グループの活動】

レバノン政府に対して、彼らの消息を突きとめるための独立した調査委員会を設立することを要望し、また、誘拐に関与したと疑われるヒズボラに対してもできるかぎりの調査を求める。

アムネスティに関心のある方は例会に参加して下さい。入門セミナーも行っています。

アムネスティ・インターナショナル札幌28グループ

例会毎月第2週土曜日3時から 札幌市中央区大通り西22丁目札幌独立教会(Tel 641-3522斉数 Tel 622-5453高見)



Handwritten: Mrs. Odette Adib

Handwritten: % Mrs. Wedad Halwani

Handwritten: Dar al-Aman Bldg.

Handwritten: Ibn Manzour St. Ras al-Nabei

Handwritten: Beirut



LEBANON
Handwritten: لبنان



Amnesty International Sapporo 28 Group
c/o Dokuritsukyokai, Odori 22, Chuo-ku,
Sapporo 060 JAPAN